

凡 例

臺灣中部地震に伴ひたる災害，地變，其他諸現象の現地に於ける調査は，主として地震發生直後に現地に出張せしめたる高橋龍太郎，大塚彌之助，鈴木武夫，齊田時太郎によりて爲されたるものなれども，其後に出張を命ぜる那須信治，宮部直巳，萩原尊禮も亦之に加擔せり．報告編輯は上記諸氏，保田柱二及び武田一雄の勞によるものなり．

現地調査に當つては各調査員の觀察聴取見聞したる事柄は細大漏さず資料として採録する事を務めしめたりと雖，災害地域の廣大且僻陋なる爲，短期日の出張調査にては能く調査せざりし事項及び地方の多々あるは誠に止むを得ざる事とす．又各人の調査したる所のものは，其一部は論文として發表せるものあるを以て，本報告と共に各調査員の論文をも参照せられ度し．

卷末地圖は参照の便を計り，陸地測量部發行の五萬分之一地圖に，調査發見したる斷層，龜裂，山崩，噴砂地の主なるものを記入せるものなり．微細なる地變は記入不可能なると共に一方圖を複雑ならしむるにより之を省略せり．

震災地寫眞には撮影者氏名，撮影期日を併記して参考に供せり．撮影者氏名なきものは多く總督府殖産局，社會局，交通局，警務局，文教局及び新竹，臺中，兩州廳より惠與せられたるものなり．

又卷末統計表は主として總督府警務局發行の新竹臺中兩州震災概況書より採録せるものなり．

茲に調査に對し各種便宜を與へられたる總督府各局，各州々廳，各郡役所，各警察署に謝意を表す．

昭和 11 年 3 月

地 震 研 究 所 長